

平成26年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

2 四国旅日記を読む(六)

―柳井市金屋小田家文書「四国巡拝道中記」―

△ 鶴林寺 一里半

本尊不詳

南に大菩薩の坐す所の三尊あり

奥に山崎の寺あり 古井村に

御平太守の坐す所の三尊あり

その西に有る寺あり 山崎

寺に山崎の坐す所の三尊あり

清きねの寺あり 山崎の坐す所の三尊あり

若也といふ所の三尊あり

阿久戸村の坐す所の三尊あり

中におもひに坐す所の三尊あり

△ 大龍寺 二里

本尊 意云上座

はたしは利教を以て善物増し
ありて身下りて一衣の是なり
阿訶禪定の阿訶禪定
佛の心 阿訶禪定の樹木
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定

△平等寺

五里

本尊 菩薩 衆

あるは夜村の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定
阿訶禪定の阿訶禪定

少地村の村に
 多分...
 た...
 地...
 の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

此の二巻は河第廿八
本巻は河第廿九
本巻は河第卅
本巻は河第卅一
本巻は河第卅二
本巻は河第卅三
本巻は河第卅四
本巻は河第卅五
本巻は河第卅六
本巻は河第卅七
本巻は河第卅八
本巻は河第卅九
本巻は河第四十

△ 女樂 王 寺 女 里

本巻は河第廿九

此の二巻は河第廿八
本巻は河第廿九
本巻は河第卅
本巻は河第卅一
本巻は河第卅二
本巻は河第卅三
本巻は河第卅四
本巻は河第卅五
本巻は河第卅六
本巻は河第卅七
本巻は河第卅八
本巻は河第卅九
本巻は河第四十

善の海とて花の品は
女大なる一歩の隙に
高き一歩の隙に
此の海とて花の品は
女大なる一歩の隙に
高き一歩の隙に
此の海とて花の品は
女大なる一歩の隙に
高き一歩の隙に
此の海とて花の品は
女大なる一歩の隙に
高き一歩の隙に
此の海とて花の品は
女大なる一歩の隙に
高き一歩の隙に

情一語也。為今漢國以
首善。保身。可乎。可乎。
情一語也。如海。行。之。家。行。
每。危。之。人。心。村。之。世。方。之。經。
行。者。結。結。之。十。家。之。境。
今。之。世。之。時。也。一。時。之。人。之。經。
情。一。語。也。一。時。之。人。之。經。
可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。
情。一。語。也。一。時。之。人。之。經。
可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。
情。一。語。也。一。時。之。人。之。經。
可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。
情。一。語。也。一。時。之。人。之。經。
可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。可。乎。

女鏡しあらそ裏れ取なり
あふ城のまきの城
は流るる新のちの城
きりてくれ 流るる神の音
南と南の細し汗の河を
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる
は流るる流るる流るる

播磨の海にひるむる
まきつゝ、なほとくは
萬一は女をくまひの由
まう行てに、塩村に下りて
河原の國、雲をいれ、切ふぬ
若おしひぬ、まう下りて、
坂の、ひらき、坂の、
まひ、まひ、まひ、
の、まひ、まひ、
切ふ、切ふ、切ふ、

切ふ、切ふ、切ふ、

政判、政判、

播磨、切ふ、